

## 2022年度第1回(一社)日本生物物理学会理事会議事次第

日時:2022年6月18日(土)14:00~17:30

場所:東京大学(オンライン開催)

出席者:理事総数 19名 出席理事 14名(代表理事を含む)

代表理事(会長)	野地 博行	理事(副会長)	今田 勝巳
理事(副会長)	佐甲 靖志	理事	相沢 智康
理事	飯野 亮太	理事	片山 耕大
理事	小島 清嗣	理事	杉田 有治
理事	田端 和仁	理事	寺川 剛
理事	永井 健治	理事	南後 恵理子
理事	西坂 崇之	理事	村田 武士

監事:監事総数 2名 出席監事 1名

監事 神取 秀樹

オブザーバー:

邦文誌編集委員長	上田 昌宏
欧文誌編集委員長	中村 春木
ウェブサイト編集委員長	飯野 亮太(兼任)
2022年度年会委員長	菊川 峰志
2023年度年会委員長	神取 秀樹(兼任)
北海道支部長	小松崎 民樹
関東支部長	高橋 浩
中部支部長	鈴木 健一
中国・四国支部長	松木 均
選挙管理委員長	小嶋 誠司

陪席者:

学会事務局	向井 牧子	学会事務局	末吉 建太
-------	-------	-------	-------

議長:代表理事(会長) 野地 博行

議事録作成者: 片山 耕大

## 報告事項

1. 定時社員総会の報告(野地):報 1
2. 2022 年度年会準備状況(相沢):報 2
3. 2023 年度年会準備状況(神取):報 3
4. 2024 年度年会準備状況(野地):報 4
5. 2023・24 年度会長候補者意向聴取選挙・代議員選挙結果報告(小嶋):報 5
6. 出版委員会報告(佐甲):報 6
7. 男女共同参画若手支援関連報告(今田):報 7
8. 企業支援 WG 活動報告(小島):報 8
9. 国際関連委員会報告(西坂):報 9
10. 会員除籍と会員数の報告(田端・寺川):報 10
11. 地区報告
  - 北海道支部(小松崎)
  - 中部支部(鈴木)
  - 中国・四国支部(松木)
  - 九州支部(寺沢(欠席))

その他

## 審議事項

1. 出版委員会関連議題(佐甲・中村):議 1
2. 第 11 回 BPPB 論文賞 授賞論文の承認について(佐甲):議 2
3. 男女共同参画若手支援関連議題(今田):議 3
4. 契約更新について(野地):議 4
5. 関西支部の設立について(永井):議 5
6. 年会発表分類について(野地):議 6
7. 銀行口座について(田端):議 7
8. 会員総会シンポジウムについて(田端):議 8

その他

## 連絡事項:

1. 次回理事会日程について(野地)  
2022 年度第 2 回理事会  
日時:2022 年 9 月 28 日  
場所:函館

## 定足数の確認:

理事会の審議に先立ち、議長・野地博行氏より定足数の報告があった。

理事総数 19 名のうち、出席者 14 名により過半数を超えた。

## 報告事項:

### 1. 定時社員総会の報告(野地):報 1

野地博行氏より 2022 年度定時社員総会について以下の報告があった。

- 第 1 号議案事業報告および第 2 号議案決算報告が承認された。
- 2022 年度の事業計画、収支予算の報告があった。

### 2. 2022 年度年会準備状況(相沢):報 2

相沢氏より第60回 日本生物物理学会年会(函館)準備状況について報告がなされた。

- 開催概要:2022年9月28日(水)~30日(金)(27日準備日)、函館アリーナ、函館市民会館にてハイブリッド開催。年会長/実行委員長は北大・金城氏。キャッチフレーズは「集え!北へ!函館へ!」
- 参加登録・発表登録受付開始:4月26日、一般演題登録締切:6月3日。高校生・高専生の発表登録締切は6月23日まで延長。
- 「完全ハイブリッド」での開催に向けて修正予算案を作成。
- 参加登録申し込み状況について、現状、一般会員と学生会員(院生)がほぼ半々、学部生は5%程度。一方、シンポジスト以外の海外申込がごく少数→今後、海外参加申し込み勧誘強化への協力依頼
- 参加申し込み状況の内訳  
Member 会員:506, Non-member 会員:185,演題登録数について、一般発表:968件、高校生発表:1件、シンポ:213件 合計1,181件
- プログラム編成作業について(菊川氏より説明)、現在ポスター番号を振り分ける作業を実施中。
- ハイブリッド要旨集(Webプログラム)構築準備開始。従来通りの紙冊子でのプログラム(要旨無)を配布。Webプログラムは、アトラス社 Confit を採用。オンラインプログラム、アプリ要旨集、PDF 要旨集を準備。
- ピッチコンテスト企画(理事会 企業 WG)
- 高校生、高専生(本科1~3年)の一般演題発表の勧誘(6月23日まで)、今後は参加申し込み勧誘へシフト、全国約440校に案内発送済み。
- 学生会員(大学院生)年度会費無償化・準会員制度(学部生、中高生)との PR 連動が重要。理事会作成のパンフレット等を使って参加の呼びかけを強化(学部生を含む/講義での一本釣り等)。さらに地元については、教育委員会等を通しての勧誘、全国については、オンライン参加の勧誘を依頼したい。
- 交通/宿泊関係について、Web サイトでの案内、注意事項案内を準備中。

### 3. 2023 年度年会準備状況(神取):報 3

神取氏・小嶋氏より第61回 日本生物物理学会年会(名古屋)準備状況について報告がなされた。

- 実行委員会名簿が決定。
- オンサイト開催を目指す(ハイブリッド開催をバックアップとして)。

#### 4. 2024 年度年会準備状況(野地):報 4

野地氏より第62回 日本生物物理学会年会(京都)準備状況について報告がなされた。

- 会場は京都国際会館に決定。
- Scientific program についても、IUPABとの関連から、西坂氏にも参入してもらい、海外からの Advisory Board 参加者の選定も行っている。
- 運営委託業者(候補)によるプレゼンテーションを実施し、選定中。候補として、1) JTB コミュニケーションデザイン、2) コンベンションリンケージを挙げ、コンベンションリンケージを軸に進めている。

#### 5. 2023・24 年度会長候補者意向聴取選挙・代議員選挙結果報告(小嶋):報 5

小嶋氏より2023・24年度会長候補者意向聴取選挙・代議員選挙結果について報告がなされた。

- **2023・24年度会長候補意向聴取選挙 開票結果 2022.6.10.正午締切(即日開票)**  
高橋 聡氏 116票  
永井 健治氏 111票  
由良 敬氏 87票  
投票者数322(うち白票8)※前回選挙は286(うち白票5)
- **2023・24年度代議員選挙 開票結果 2022.6.10.正午締切(即日開票)**  
尚、細則では55名以内が代議員になる、ということで、上位54名を当選とした(当選者リストは資料参照)
- 理事会後に、学会 HP に選挙管理委員会報告として当選結果を公告する案が提示された。

#### 6. 出版委員会報告(佐甲):報 6

佐甲氏より出版委員会について報告がなされた。

- 生物物理編集委員会からの報告について
  - 出版状況が順調に進んでおり、例年通り 400 ページとなる見込み。
  - 類似度検査を開始し、年間100件で 10,000 円。BPPB 誌と同じシステムを今後使用していく。
  - 「生物物理」で出版された記事の営利利用に関して、課金の価格設定などを決定した上で、転載を許可した。
  - 訂正(エラータ)記事の掲載に関して、承認された。
- BPPB 編集委員会からの報告について
  - 発刊状況について、現時点で 21 編(年間 50 編を目標)
  - BPPB 第9回 Editors' Choice Award (ECA)の選考と決定について、4 報が決定された。
  - 科研費2021年度実績報告書と2022年度交付申請書の提出
  - Biophysical Reviews 誌の Editor's Roundup への協力として、決定したばかりの 4 報の第9回 ECA 受賞論文を紹介した。
  - 海外からの論文の受付について、戦争により国際的な経済的制裁を受けている国もあることから、海外からの投稿された論文の BPPB への掲載について、その方針を下記とした。
    1. 著者がどの国に在住でも、論文受付と審査については科学的根拠に基づいて実施することとする。

2. BPPB および J-STAGE の倫理基準 (Ethics standards) に従って論文を発刊することとする。
3. 2022年2月28日付の日本学術会議会長談話あるいは2022年4月19日付の一般社団法人日本生物物理学会からの声明の趣旨に相反する内容が記載された論文は発刊しないことがある。
4. 論文掲載費用 (APC: Article Processing Charge) が日本の銀行にて円で受け取れるように、あらかじめ著者には注意を喚起しておくこととする。

- LaTeX による Template について、テスト運用が開始された。
- BPPB の表紙画像が改訂された。
- ウェブサイト編集委員会からの報告について
  - 学会サイト全般の修正は継続的に実施されている。
  - SNS の活用も順調に進んでいる
  - 生物物理誌に就活体験記などを載せることへの提案

## 7. 男女共同参画若手支援関連報告 (今田): 報 7

今田氏より男女共同参画若手支援関連について報告がなされた。

- 若手奨励賞について、応募が 56 件 (昨年38件) あり、一次審査を審査員に依頼。7 月上旬に1次審査通過者が決定。年会プログラムに2次審査対象発表者が掲載予定。2 次審査員候補者も決定済み。IUPAB Award および IUPAB Student Award の準備も順次進めていく。
- 学生発表賞について、応募237件 (ポスター応募件数の4分の1を占める) となったため、1次審査により100件程度に絞ることとする。1次審査は1申請につき2人で審査、平均2.5点の5点満点、2名合計10点満点とする。2名の合計が高いものから100人程度を1次審査通過者とする。
- キャリア支援説明会について、例年と同様、講師を招いてオンサイトによりパネルディスカッション形式で講演してもらう予定。また支援説明会後は、オンサイトにて個人相談会もブース形式で開催予定。
- 8月7日に女子中高生夏の学校に参加し、ポスター及びキャリア相談会を実施予定。
- サブグループ支援活動について、今年度は8件の支援を行うことを決定

## 8. 企業支援 WG 活動報告 (小島): 報 8

小島氏より企業支援 WG 活動について報告がなされた。

### ①学会としての承認

- 若手会員へのアピールおよび人材育成の手段として今後も学会イベントの一貫として継続
- リバネスと学会の共催での実施
- 実施後に今後の検証・見直しを行う

### ②費用の承認

- リバネスから運営に係る 2 名分の旅費負担
- ピッチコンテストの賞金 (参加者のモチベーションを上げる、5 名分=10 万円)

### ③リクルートのためのブースを出展することの承認

- リクルーティングのブース展示を希望しており、通常の商業ブースとは趣旨が異なる。
- 学会員が就職機会を得るための一助にも繋がる。

- キャリアパスの方でも講演など企画されているが、ブースの具体的な形で実施希望。

## 9. 国際関連委員会報告(西坂):報 9

西坂氏より国際関連委員会について報告がなされた。

- ジョイントシンポジウム関連について
  - 現状、インド、台湾、中国、アメリカ、アジア (韓国・シンガポール・中国)、オーストラリア 活発に活動。
- ABA 関連
  - ABA 大会 Jun22-26
  - Asian Biophysics Association, Asia-Pacific Protein Association and Taiwan Biophysics Society のジョイント (初日開催)
  - セッションが 1 つしか走らないという小さな会
  - IUPAB lecture として内橋貴之氏 (名大) が講演
- IUPAB Congress "Kyoto 2024" 関連
  - 実行委員会で 3/28, 4/20, 5/17 に会議を実施。会場・セッション名・依頼する業者を検討中。
  - プログラムについては、仮のセッションタイトルが決定。7 月に Advisory Board に投げ、9 月までに各セッションの organizers を確定したい。現在海外 Advisory Board members を選定している段階。
- 函館年会の登録システムについて、海外からの参加登録者が円滑に行えるよう大幅に更新できた。
- 函館年会において IUPAB Awards を立案。

## 10. 会員除籍と会員数の報告(田端・寺川):報 10

寺川氏より会員除籍と会員数の報告がなされた。

- 2021 年度除籍候補者について、2022 年 4 月 30 日の入金状況により、除籍処理を行った。

## 11. 地区報告

北海道支部(小松崎)

小松崎氏より、支部報告がなされた。支部予算申請は、引継ぎが完了した段階で行う予定。

中部支部(鈴木)

鈴木氏より支部報告がなされ、2022 年 3 月 17 日に中部支部講演会をオンライン開催した(世話人:古谷祐詞氏(名工大))。講演会の間に中部支部総会を開催した。会計報告のほか、神取氏より 2023 年度名古屋年会の準備状況についての説明があった。次回世話人が内橋貴之氏(名大)に指名された。

中国・四国支部(松木)

松木氏より支部報告がなされ、2022 年 5 月 28 日に第 13 回中国四国支部大会をオンライン開催した(世話人:須藤雄気氏(岡山大)、小島氏、安井氏)。31 件の口頭発表があり、参加者は 47 名であった。支部大会終了後に、支部総会を開催した。若手研究者優秀発表賞 2 名の発表・表彰、2021 年度収支決算報告を行った。

2023~2024 年度中国四国支部の役員体制を選出、承認した。

次期支部大会は令和5年5月下旬に鳥取（世話人：溝端知宏氏（鳥取大））に決定。

2022年5月31日に田中好幸氏（徳島文理大）により会計監査を実施した。

九州支部（寺沢（欠席））

寺沢氏の代わりに野地氏から支部報告をなされた。九州支部例会「五感研究の最前線」を開催した。視聴者数は97名であった。支部だよりにて活動内容を報告した。会計報告も行った。

その他

休憩 10分

審議事項：

1. 出版委員会関連議題（佐甲・中村）：議 1

佐甲氏より、出版委員会関連の審議がなされた。

- 「生物物理」冊子体刊行に関する費用改訂の審議事項  
再提案し、変更があるとすれば再来年度からになるということで、本理事会では割愛された。
- J-STAGE 早期公開ページへの Abstract と Graphical Abstract の掲載、および学会ニュースと BPPB top page の改良について  
費用が 1 報あたり 1000 円増額する。また、自動システム化の改良に 297,000 円科研費にて支払う。  
→理事会にて承認された。
- BPPB Editorial board members, Associate Editors, Advisory Board members について  
候補となる方の提案募集。

2. 第 11 回 BPPB 論文賞 授賞論文の承認について（佐甲）：議 2

- 第 11 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞審査報告について  
8 報の論文が審査対象となり、1 報の論文が選出され、出版委員会では授賞が承認された。理事会にて審議の後、授賞を確定する。  
→理事会にて承認された。

3. 男女共同参画若手支援関連議題（今田）：議 3

審議事項なし。

4. 契約更新について（野地）：議 4

野地氏より中西印刷との契約更新について審議報告がなされた。

- 学会事務:BPPB に交付される科研費業務の追加 (月額5万) 本体とは別契約。
- 学会事務:BPPB Editors' Choice Award に関する業務の追加 (年額3万)
- 学会誌:BPPB のテンプレート導入による価格変更及び「会誌作成・査読事務業務の詳細」の追加

5. 関西支部の設立について(永井):議 5

永井氏より、関西支部の設立について審議説明 (意見伺い) がなされた。

- 関西支部の設立の必要性について。
- 地方区分および所属先の再定義の必要性について。

6. 年会発表分類について(野地):議 6

野地氏より、年会発表分類について発議があった。

- 会員から届いた、年会の発表分類への「クロマチン・染色体」の追加についての意見を受け、名古屋年会までに、追加について審議することとなった。

7. 銀行口座について(田端):議 7

田端氏より銀行口座について審議相談がなされ、学会が保有している銀行口座を集約したいとの説明があった。次回積み残し事案とした。

8. 会員総会シンポジウムについて(田端):議 8

田端氏より会員総会シンポジウムについて安藤敏夫氏に講演快諾を頂いた旨が報告された。

連絡事項:

野地氏よりウクライナーロシア間の戦争に対する学会としての声明について説明がなされた。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 17:30 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

2022 年 6 月 18 日

一般社団法人 日本生物物理学会 2022 年度第 1 回理事会

代表理事 野地 博行 (印)  
 監事 神取 秀樹 (印)